

〔企業〕(五十音順)



〔大学〕問い合わせ先



大学公認事業

研究職をめざすあなたに

理系大学院生 & ポスドク対象
文系の方はご相談ください

2019
年版

研究インターンシップに

さらなる成長の機会となる

挑戦してみませんか？

「一流の研究者になる前に
一人前の研究者になる」

協議会(C-ENGINE)は、研究インターンシップをとおして、学生が一人前の研究者として身につけるべきトランスファブルスキルの習得を支援します。さらに、産学の対話と知の交流により相互理解を深め、我が国の研究力に厚みをもたせイノベーション創出に貢献します。



C-ENGINEは、産と学の交流をとおして イノベーションを創出できる人材育成をめざす 大学と企業のコンソーシアムです

C-ENGINEの研究インターンシップは、修士課程・博士課程・ポスドクなど若手研究者が産官学を問わず将来イノベティブな人材として活躍することを目的とした教育プログラムです。就職のためのインターンシップとは異なり、これまで培った研究力を活かして産業界の研究開発実務に関わることで、俯瞰力、チームワーク力、マネジメント力などを学び、研究者としての幅を広げます。また、産業界の人脈を広げるチャンスでもあります。

■C-ENGINEのインターンシップの特徴

組織と組織のインターンシップ

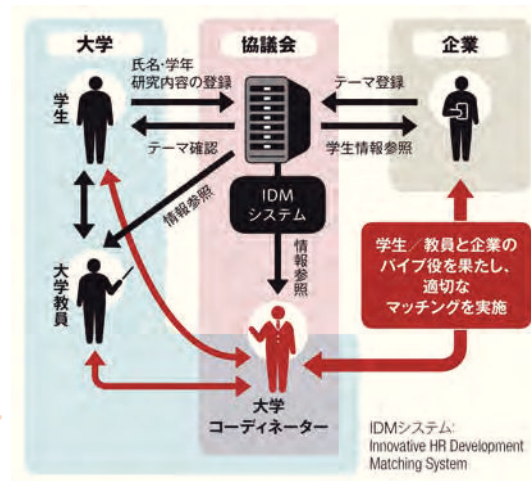
コンソーシアムとして事例を共有し
研究インターンシップの質向上につなげます

中長期の研究インターンシップ

基本技術の指導や習得だけでなく、より実践的な研究をとおして
協働する場を提供します

オンラインとオフラインでのマッチング

IDMシステムと、大学コーディネーターのハンズオン支援により
効率的で丁寧なマッチングのしくみを構築しています



■インターンシップ開始までの一般的な流れ

- STEP 1 参加申し込み**
IDMシステムにアカウント登録
- STEP 2 IDMシステムでテーマ探し**
自身の研究内容、興味、希望などをIDMに登録
各企業のインターン募集テーマの閲覧
- STEP 3 インターンシップへの応募**
コーディネーター・指導教員と相談して応募
エントリーシートの提出
- STEP 4 面談**
学生・コーディネーター・企業担当者で面談
実施テーマ／時期／期間等を調整
- STEP 5 事前準備**
マッチング成立後、大学－企業間の契約手続き
保険加入、事前学習
※コーディネーターが事前講義を実施する大学もあります
- STEP 6 インターンシップ開始!!**
企業研究者との協働がいよいよスタート
思いきり活躍してください!!



IDMにユーザー登録するとできること

- 参画企業が限定公開しているインターンシップ募集テーマをチェック
- 企業へのアピール
- 企業に対する研究テーマの提案

まずはIDMのアカウント登録から はじめよう!!

IDMのアカウント登録はこちらから→
<https://idm.invhr.org/regist/>



※登録された個人情報、本活動のみに活用され、他の機関が利用することはありません。

みなさんの疑問にお答えします!

C-ENGINEの研究インターンシップ

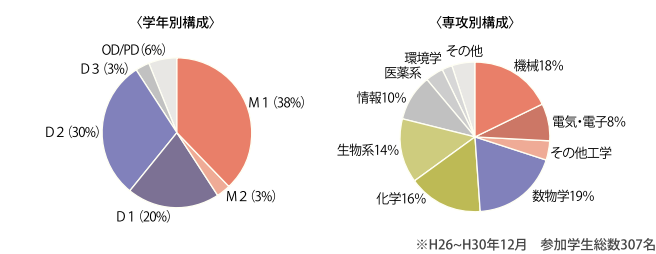


Q 一般的なインターンシップとの違いは?

A 企業での研究の現場を一定期間体験することで、大学では得られないさまざまな「気づき」を得て、研究者としてさらに成長できる素地を築いていただくことを目的に、良質なインターンシップの機会を提供します。また、大学の公認事業としてコーディネーターのサポートを得ることもでき、インターンシップテーマや日程などカスタマイズすることが可能です。

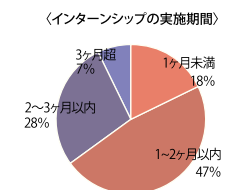
Q インターンシップに参加する学生の学年や専攻は?

A 修士1年、博士1年、博士2年の学生のみさんが多く参加されています。博士・ポスドク学生で約6割を占めます。専攻には偏りはありませんが、機械、化学、基礎学問（数学・物理）を専攻されている学生のみさんが多く参加されています。



Q 中長期とありますが、2か月以上のプログラムだけなのでしょうか?

A 1～2ヶ月以内が全体の47%を占めます。「時間的余裕がないので参加は無理」とあきらめず、プログラムを検討してみてください。



Q 掲載テーマのなかに適当なテーマが見当たりませんか

A C-ENGINEの参画企業には、学生からのテーマ応募型の企業もあります。企業の研究内容を確認し、希望する研究テーマを明確にしたうえでコーディネーターに相談してみてください。

Q インターンシップに参加したいのですが、希望する企業が遠方です

A 受け入れ企業ごとに対応は異なりますが、原則としてホテルや寮などをご提供いただけます。コーディネーターに相談してみてください。

■研究インターンシップを経験した学生の声■

東京工業大学 × 大日本印刷

大学研究を離れ、企業研究に携わることで実験にかかわる一連のプロセスの重要性を感じた。また、専門性を高めるだけでなく、幅広い専門外の知識を身につける必要があると実感した。そして、インターンシップの経験が、自身の目指す研究者像を改めて考え直すきっかけになった。同時に、どのような能力を磨き、身につけていくべきか、学ぶことができた。自身のステップアップに繋がる貴重な経験だと確信している。
(物質理工学院 応用科学科 博士課程1年)

奈良女子大学 × 住友電気工業

インターンシップは自分たちが将来就きたいと考える仕事に本当に自分自身に合っているか確かめるきっかけ、企業で働くということ、その会社について知るとてもよい機会である。プログラミングに大きな苦手意識を持っていたが今回のインターンシップを通してより身近なものへと変化した。やりたいという気持ちがあればダメもとであっても挑戦する価値は十分にある。
(人間文化研究科 数学専攻 修士課程2年)

神戸大学 × 電力中央研究所

「具体的な問題にチャレンジしないと課題や問題の本質はなかなか見えてこない」という意識をもつようになった。また、長期間のインターンシップに参加することによって、将来の仕事のイメージを具体的に掴むことができた。自分の得意・不得意を見つめながら、どのような点を伸ばし、どんな事は周囲に頼って良いのかを知る事に繋がった。
(システム情報学研究科 計算科学専攻 博士課程2年)